

絶滅危惧種の保全対策状況の解析手法について

現行の環境省レッドリストに掲載されている絶滅危惧種について、一定程度整備されたデータで利用可能なものを元に、以下のように減少要因及び法制度側から保全状況を解析し、これを把握する。

1. 解析方針

対象：絶滅危惧Ⅰ類（CR、EN）、絶滅危惧Ⅱ類（VU）（以下、絶滅危惧種）

（１）絶滅危惧種の減少要因から保全に関する法制度等を分析

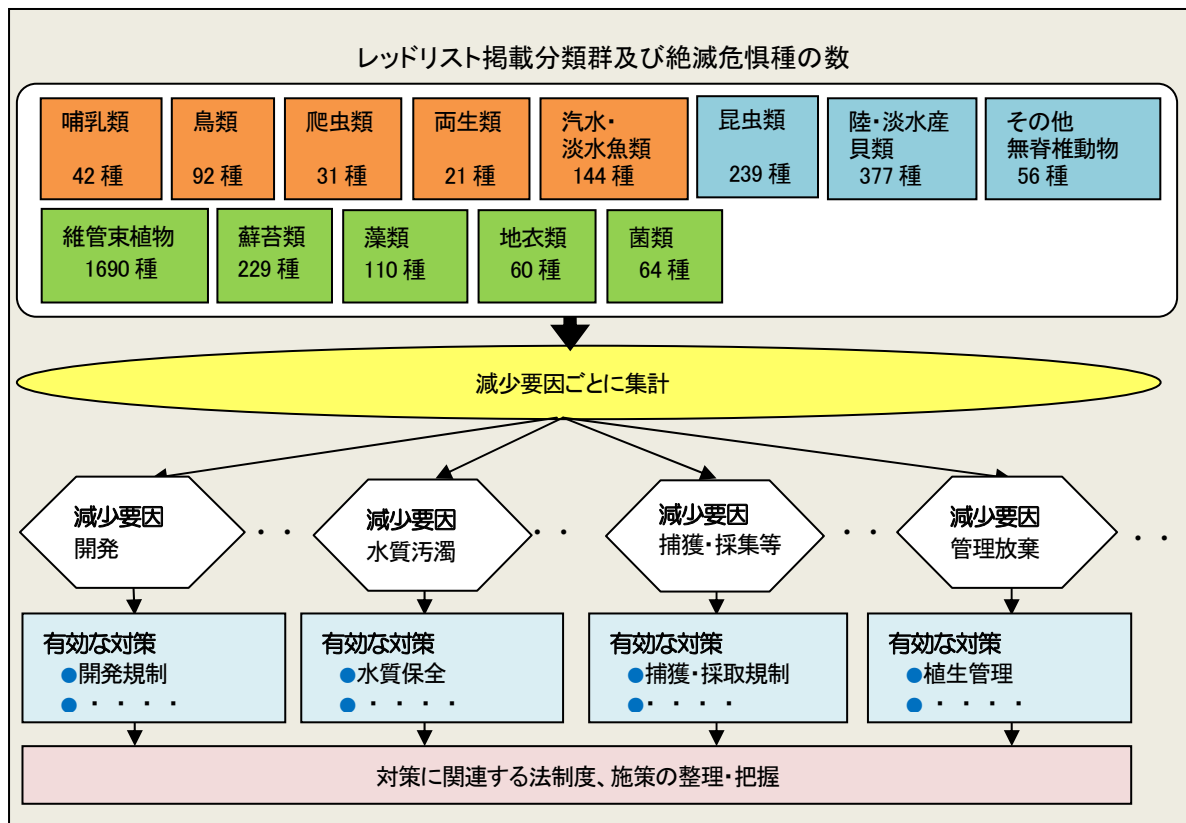
絶滅危惧種がどのような要因で減少しているかを整理し、有効な対策内容とそれらに対応する法制度・施策を整理、把握。

（２）既存の法制度・施策側から絶滅危惧種の保全状況を分析

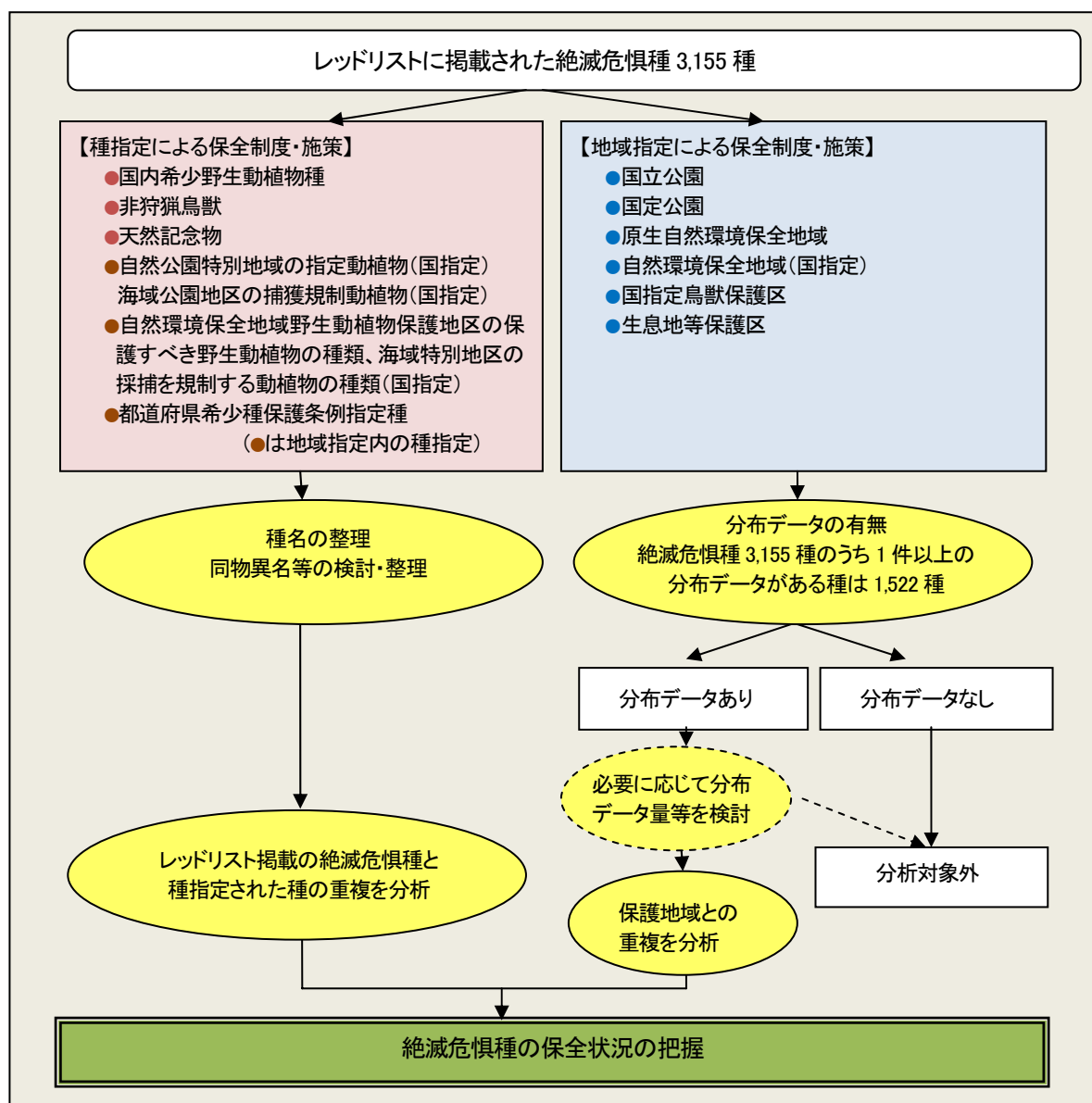
既存の法制度・施策のうち、特に種指定制度と地域指定制度によってどの絶滅危惧種が保全されているかを整理、把握。

2. 解析手法

（１）絶滅危惧種の減少要因から保全に関する法制度等を分析（イメージ）



(2) 既存の法制度・施策側から絶滅危惧種の保全状況を分析



◆分類群別の分布データがある種数

分類群	RLの種数					分布データがある種数					分布データがある種数の割合				
	CR	EN	CR+EN	VU	合計	CR	EN	CR+EN	VU	合計	CR	EN	CR+EN	VU	合計
哺乳類	15	20		7	42	7	16		6	29	46.7%	80.0%		85.7%	69.0%
鳥類	21	32		39	92	16	19		32	67	76.2%	59.4%		82.1%	72.8%
爬虫類	3	10		18	31	3	7		16	26	100.0%	70.0%		88.9%	83.9%
両生類	1	9		11	21	1	8		11	20	100.0%	88.9%		100.0%	95.2%
魚類	61	48		35	144	44	41		25	110	72.1%	85.4%		71.4%	76.4%
昆虫類			110	129	239			46	52	98			41.8%	40.3%	41.0%
貝類			163	214	377			136	194	330			83.4%	90.7%	87.5%
その他無脊椎			17	39	56			0	0	0			0.0%	0.0%	0.0%
動物小計	101	119	290	492	1,002	71	91	182	336	680	70.3%	76.5%	62.8%	68.3%	67.9%
維管束植物	523	491	0	676	1,690	215	246	0	381	842	41.1%	50.1%		56.4%	49.8%
蘚苔類			118	111	229			0	0	0			0.0%	0.0%	0.0%
藻類			89	21	110			0	0	0			0.0%	0.0%	0.0%
地衣類			41	19	60			0	0	0			0.0%	0.0%	0.0%
菌類			39	25	64			0	0	0			0.0%	0.0%	0.0%
植物小計	523	491	287	852	2,153	215	246	0	381	842	41.1%	50.1%	0.0%	44.7%	39.1%
総計	624	610	577	1,344	3,155	286	337	182	717	1,522	45.8%	55.2%	31.5%	53.3%	48.2%

注)ここでは分布データが1件でもあれば分布データありとしている。そのため実際の分布状況とかけ離れたケースも含まれる。